

令和 7 年度病虫害発生予察注意報第 7 号

令和 7 年 10 月 17 日
愛 知 県

作物名：野菜類、花き類

病虫害名：オオタバコガ

1 発生地域 県内全域

2 発生程度 やや多い

3 注意報発表の根拠

- (1) 10 月上旬にキャベツほ場で実施した巡回調査結果（10 地点 20 ほ場）において、本虫の被害株率は 3.65%（平成 1.07%、前年 2.05%）で過去 10 年と比較して 2 番目に高く、寄生株率は 1.95%（平成 0.50%、前年 1.15%）で過去 10 年と比較して**最も高い。**
- (2) フェロモントラップの直近 1 か月の総誘殺数が平成と比較してやや多い（図）。
 - ・豊橋市（キャベツほ場）418 頭（平成 289 頭、前年 419 頭）で、過去 10 年間と比較して 2 番目に多い。
 - ・田原市（キャベツほ場）379 頭（平成 280 頭、前年 433 頭）で、過去 10 年間と比較して 3 番目に多い。
 - ・碧南市（ニンジンほ場）484 頭（平成 349 頭、前年 435 頭）で、過去 10 年間と比較して 2 番目に多い。
 - ・豊川市（キクほ場）191 頭（平成 113 頭、前年 187 頭）で、過去 10 年間と比較して 2 番目に多い。
 - ・西尾市（ダイズほ場）510 頭（平成 324 頭、前年 590 頭）で、過去 10 年間と比較して 2 番目に多い。
- (3) 近年、本虫の発生が多発傾向にある。また、10 月 16 日名古屋地方気象台発表の 1 か月予報によると、向こう 1 か月の気温は高いと予想されていることから、今後も本虫の発生に好適な条件が継続すると見込まれる。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 茎、花蕾、果実あるいはキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、齢が進んだ幼虫に対しては薬剤の効果が著しく低くなるため、若齢幼虫のうちに薬剤防除を徹底する。
参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)
- (2) キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため、着蕾以降は特に注意する。
- (3) 被害残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため放置せず適切に処分する。
- (4) 本虫は寄生範囲が広く、ほ場周辺の雑草は増殖源になるため除去する。
- (5) 施設栽培では成虫の飛び込みに注意し、開口部を防虫ネットで被覆する。
- (6) **今後もほ場への飛来が続くことが予想されるため、薬剤防除後もこまめにほ場を巡回し、発生状況に注意する。**

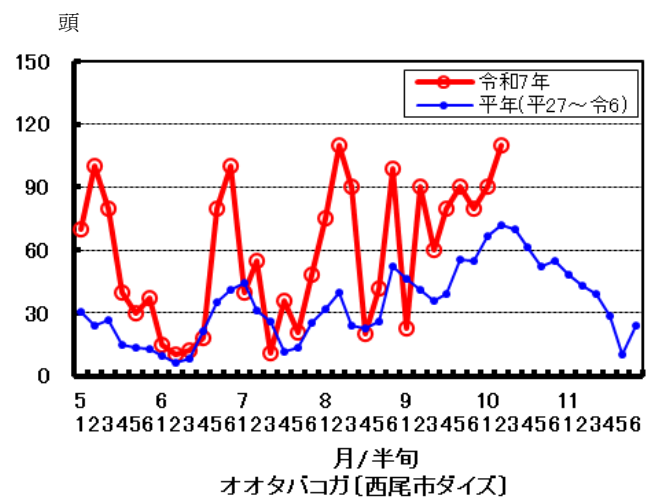
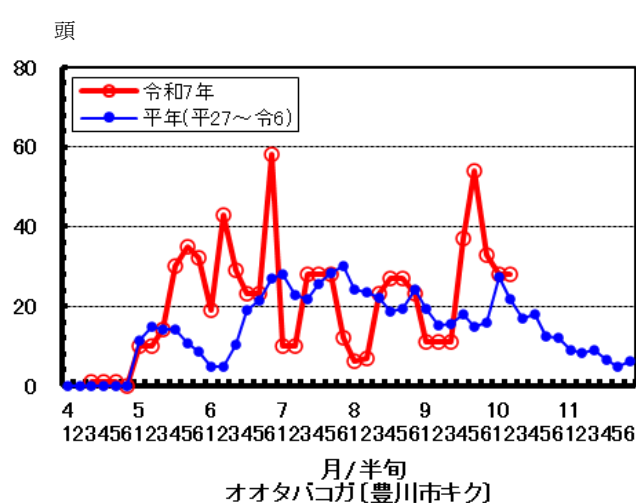
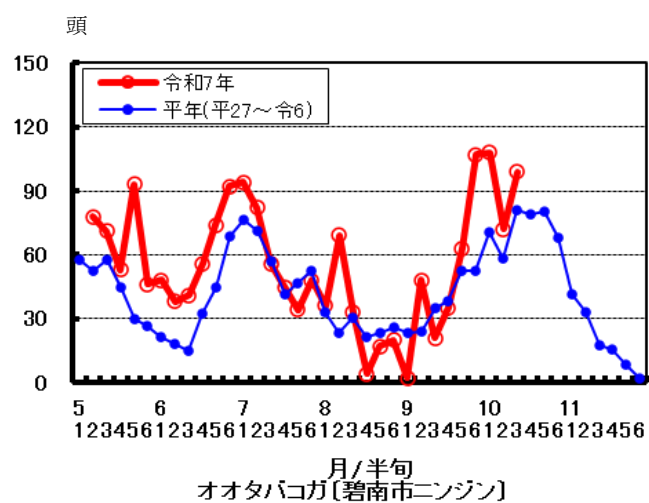
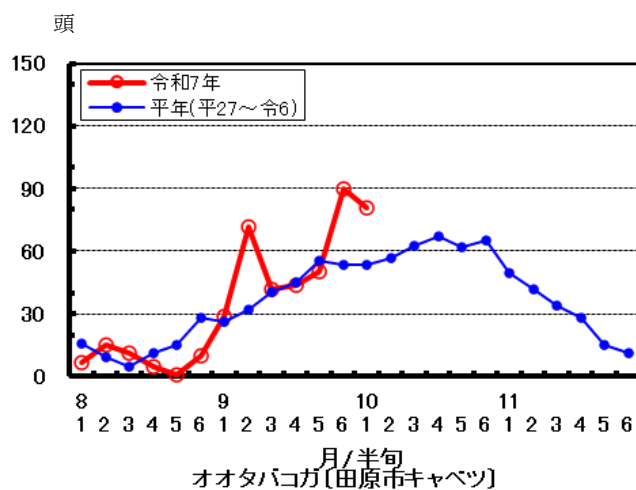
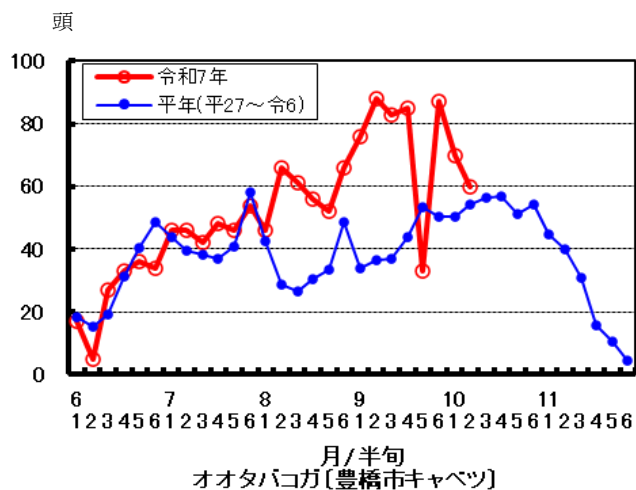


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数

- 5 連絡先
愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室
電話 0561-41-9513